

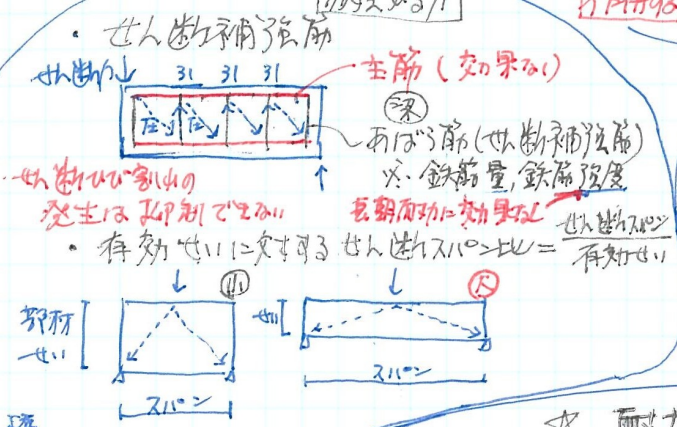
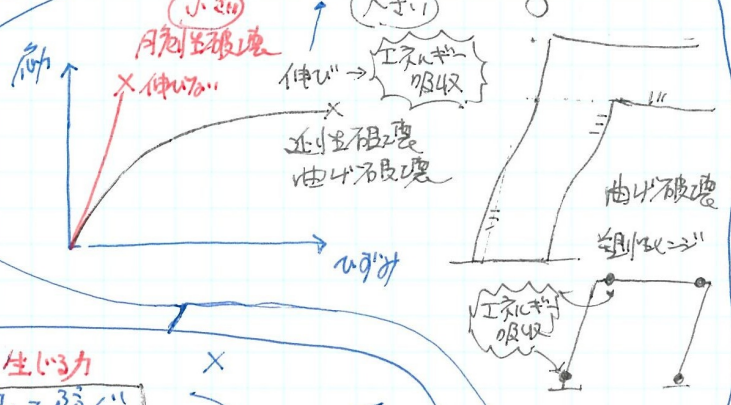
せん断耐力  $\geq$  せん断応力

作用耐力

$$Q = \frac{M+M}{H}$$

$M \textcircled{A}$ : 主筋の力  
 $H \textcircled{B}$ : 短柱

脆性変形能力



★ 耐力  $\geq$  生い力  
脆性破壊を防ぐ

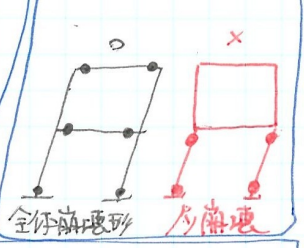
- せん断破壊
- 斜着割れ破壊
- 圧縮破壊

鉄筋コンクリート構造



コンクリート + 鉄筋  
圧縮力 (引) 引張力 (引)  
引張力 (引) 伸びる  
脆い

柱 (短)  $\rightarrow$  梁



脆性変形能力 (1) 要因

- 作用耐力 (引)  $\leftarrow$  使用するせん断力 (引)
- 主筋 (引)  $\rightarrow$  曲げ耐力 (引) (引) 高さ  $\rightarrow$  短柱
- せん断スパン比による割増し  
不注の終局耐力には考慮する

せん断力に対する耐力

	長期		短期	終局
梁	C	R+C	R+C	R+C
柱	-	C	R+C	R+C
柱梁接合部	-	C	C	C

R: せん断補強筋の耐力  
C: コンクリートの耐力

せん断力の効果  
柱-梁の壁の  
終局せん断耐力  
のみ考慮する

せん断スパン比による  
割増し  
不注の終局耐力には  
考慮する